

ふれあいサロンモルック交流会 2024

各地域で健康維持増進や地域交流を目的として集まっている「ふれあいサロン」の方々の交流とモチベーションアップを目的とした「ふれあいサロンモルック交流会」を6月12日に開催しました。

総勢7カ所のサロン 9 チーム(計42名)が参加し、一進一退の白熱した試合を繰り広げました。久々に会う参加者同士もあり、近況を話し合ったりするなどして終始笑い声の絶えない交流会となりました。

今後もふれあいサロンの方々が生きがいを持って楽しく活動ができる取り組みを推進していきます。



赤い羽根共同募金の一部を活用させていただき、交流会を実施しました！

地域交流を 芋の苗植えで♪



ボランティアのみなさん(左から)
高村征子さん、北里久美子さん、禿安子さん、佐藤智香子さん

5月20日、市原小学校で町内のボランティアさんたちと一緒に芋の苗植えを通して、地域交流を行いました。

体育館横に作られた畑に、児童たちはボランティアの皆さんに芋苗の植え方のコツを教えてもらいながら、上手にサツマイモの苗植えをしました。

見事な快晴の中で、児童とボランティアの皆さんとの交流が深まりました。暑い中での活動お疲れ様でした。秋の収穫が楽しみです。



社協便り

7月
NO.94

令和6年7月発行
編集・発行：南小国町社会福祉協議会
お問い合わせ先：0967-42-1501

南小国町ボランティア連絡協議会 総会 (通称：なずなの会)



南小国町において活動しているボランティア相互間の連携を図ると共に、自主的な交流・協力活動ならびに南小国町のボランティアの輪を広げ南小国町の福祉の向上に寄与する事を目的に事業を展開しています。

昨年度は、第19回晴ればれりんどうボランティアの日(10月～11月)を開催し、延べ512名の方がボランティア活動を行いました。

本年度も、『晴ればれりんどうボランティアの日』『炊き出し訓練』などのイベントを予定しています。

ボランティア学習会

総会終了後に、『能登半島地震災害ボランティア活動』をされた、阿南誠志さん、杉野洋次さん、坂本博一さんの3名に、今回の災害ボランティア活動についての動機や、活動を通して感じた想いなどを『ボランティア学習会』で講演いただきました。

『石川県穴水町での炊き出し活動』

2月10日～12日にかけて、20名のボランティアが穴水町でだんご汁などの炊き出しを行いました。現地へ行くことができない方々から、支援金や米、みかんなどの食材を支援していただき、200名分の食事を提供することができました。

『石川県輪島市・志賀町災害ボランティア活動』

被災地と参加者を繋げ、想いを次世代の参加者へ繋げることを目的に4月4日～7日の4日間、熊本県内の高校生・大学生を引率し、がれき撤去、引っ越し支援の活動を行いました。被災者と直接言葉を交わしたり、他の参加者との交流も図ることができました。学生たちからは『また復興支援に行きたい』『町や文化、自然に魅力を感じ守りたいと思った。』など心強い感想が聞かれました。

『活動を通して感じたこと』

一緒に美化活動ボランティアをしている方に誘われて参加しました。『百聞は一見に如かず』で大きな建物の倒壊や被災者の生活の様子をみて災害の怖さを体感しました。

被災者からの『ありがとう』を聞いた際に、少しは被災者への助けに繋がったかな、これからもできる支援を続けていきます。



学習会の模様は、きよらニュースで放送されますので、皆さんぜひご覧ください♪(7月放送予定)

令和5年度 南小国町社会福祉協議会 事業報告（概要）

基本方針

住民の皆様・役場・関係者等と協力し、住民同士のつながりの薄らぎ、社会的孤立、防災など様々な課題に対し、福祉サービスの充実はもちろんのこと、『自助や互助を基本とした、共に安心・安全に暮らせる地域』とするための支援と支え合いの仕組みづくりを行い『まるごと地域 共生社会』の実現を目指し、【きよらの郷 もやいで つなぐ 福祉の輪】をスローガンとした第2期【南小国町地域福祉総合実践計画】のこれまでの取り組みを評価し、現状を把握・分析し『地域共生社会』の実現SDGs、withコロナなど時代の変化に合わせた施策を行いました。

重点目標

- ① 地域福祉(地域支えあい活動)の推進
第2期南小国町地域福祉総合実践計画に基づき、地域福祉(地域支えあい活動)を推進していきます。
- ② 介護保険制度改正にあわせた取り組みの推進
令和5年度は、南小国町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)などの福祉計画が見直しされます。それらの行政計画とも調和を取り、『誰一人取り残さない』地域共生社会の実現に向けて地域福祉を推進していきます。
- ③ 誰もが安心して住める地域づくりの推進
地域に潜在し、多様化する課題を早急に発見し、的確な福祉サービスの利用や支援へとつなげていけるように、民生委員児童委員、各専門機関や役場各課等と連携強化を図りながら、生活困窮者等自立相談支援事業を中心に課題を「丸ごと」受け止め町民に寄り添ったワンストップ型の相談支援体制づくりに努めます。
- ④ 社協事業の周知・啓発活動と職員の資質向上
社協会費・寄付金・香典返し・共同募金運動等の使途を会員・町民の皆さまに周知し理解を広め、地域福祉の充実を図るための財源確保に努めるとともに、介護事業所として職員一人ひとりの更なる資質向上と適切なサービス提供を行いながら、経営改善に努めます。

令和5年度 会計収支報告

《収入の部》(単位:円)

《支出の部》(単位:円)

項目	金額	項目	金額
会費	436,000	人件費	114,826,122
寄付金	1,629,364	事業費	12,581,017
経常経費補助金	33,850,631	事務費	7,015,400
受託金	5,141,650	緊急・一時支援事業費	189,376
事業収入	684,300	共同募金配分金事業費	891,315
負担金収入	8,839,000	助成金支出	144,000
介護保険事業収入	84,613,801	その他の活動支出	742,270
障害福祉サービス等事業収入	632,296	施設整備費	568,684
受取利息配当金収入	541	その他の支出	1,104,240
その他収入	1,232,546	次年度繰越金	32,033,253
施設整備等補助金収入	0	合計	170,095,677
その他の活動による収入	425,880		
前年度繰越金	32,609,668		
合計	170,095,677		



事業活動計算書



財産目録



貸借対照表



事業報告

民生委員児童委員

Newspaper



かじわら ゆきえ
梶原 幸枝さん

これからも地域と共に
やさしいまなざしで地域を見守る

プロフィール
小国町生まれ、波居原在住。看護学校卒業後、看護師として大学病院で4年間勤めた後、小国公立病院にて37年間勤務。平成28年12月に民生委員児童委員（以降、民生委員）を引き受け、現在は、民生委員協議会の副会長として活躍中。

民生委員児童委員とは、地域に暮らす人々の生活の困りごとや悩みを聞き取り、必要な支援や相談を届ける役割です。地域に暮らす人々の生活の困りごとや悩みを聞き取り、必要な支援や相談を届ける役割です。地域に暮らす人々の生活の困りごとや悩みを聞き取り、必要な支援や相談を届ける役割です。

ふれあい見守り訪問 熱中症・災害！に備えて「声かけてもらって嬉しかった」



地域に暮らす人々の生活の困りごとや悩みを聞き取り、必要な支援や相談を届ける役割です。地域に暮らす人々の生活の困りごとや悩みを聞き取り、必要な支援や相談を届ける役割です。地域に暮らす人々の生活の困りごとや悩みを聞き取り、必要な支援や相談を届ける役割です。